



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年2月14日(水)
第25巻 第28号

通巻第1058

<http://www.oamirotary.com>
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司
ソング それでこそロータリー
会長挨拶 会長 大越 将司
幹事報告 幹事 星野 実
プログラム
新入会員入会式
(株)和光 代表取締役 坂本 元美 様
四つのテスト・会員章贈呈

ニコニコ BOX

大越 将司 会長
子ども食堂、無事終了しました。
ありがとうございます。
西岡 毅 会員
先日は誕生日祝いが難うございました。
小生の人生
紳士服業界一筋70年。
今年も現役続投がんばります。

例会日	2月7日	1月17日
会員数	30	30
出席	20	13
欠席	10	17
M U	0	0
免除	5	8
出席率	86.67%	70.00%

会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。
立春を過ぎて暦の上では春となりましたが、5日(月)には関東地方に積雪がありました。温暖な大網白里市ではそれほど積もらなかったと思いますが、私の住む土気では路面が凍結しておりました。まだまだ寒い日もありますので、身体を冷やさないようにご注意ください。

さて 先週1月26日(金)は、我々大網 RC がホストクラブとなり、山中荘にて第7グループ会長幹事会が開催されました。会長としてこの会議のホスト役を担うのは初めての経験でしたが、多くの会員の皆様にサポートして頂きました。

まず会場選びは、高山会員に協力して頂き、ビールの差し入れまで頂戴しました。他クラブの参加者も大変喜んでおられました。また受付として、石田エレクトと小高直前会長にお手伝い頂き、加えて宴会も最後まで盛り上げてくれました。大変心強かったです。

そして最後は星野幹事。会議場の席の配置や宴席の女性の手配に加え、2次会のセッティングなど全て行ってくれました。2次会に参加した、諏訪ガバナー補佐と古西補佐エレクト、空港南の倉石会長・土屋幹事、みなさん大変喜んで下さったと思います。

肝心の会議でも、クラブ戦略計画やマイロータリーの登録状況など、よい進捗を報告できてありがたかったです。

他クラブがホストの会長幹事会は、会長・幹事2人だけで切り盛りしている印象でしたので、当クラブは大変恵まれています。またマイロータリーの登録や寄付など、当クラブは協力し合い、一つにまとまっているなど改めて感じました。

会員皆様のご厚情に厚く御礼を申し上げ、私の会長挨拶といたします。

スリランカ訪問報告

佐藤 廣子 会員



スリランカの里子との出会いは十数年前、5年生の時にお会いしました。瞳がキラキラ輝いて可愛い少女でした。その里子が今はもう大学生になり空港で出迎えてくださいました。すっかり素敵な大人の女性になっておりました。コロナの影響で入学試験が2年間実行出来ず今は大学2年生、22歳になっておりました。

国立大学は学費免除との事。倍率も100倍と高くスリランカの国立大学生は評価が高く将来が安定していると言われていたようです。

子供たちのなりたい職業は、1位が医師、2位が弁護士、3位が教員だそうです。

私の里子さんは化学を専攻し化学者を目指していると話をしてくれました。

国が違うと生活習慣の違いで裸足の子どもや大人も多くいました。

支援で訪れたお家で仕事を紹介して欲しいと訴えがありました。日本円で1万円あれば

スリランカ食糧支援 お礼状

コスモス奨学生 代表 鈴木 康夫 様より

頂いたスリランカへの食糧支援は、ヌワラエリヤのシャンシプラ学校に寄付して参りました。この学校には、弁当を持参できない子どもたちが在籍数の3分の1近くおります。前回の訪問でそのことがわかりましたので、この学校に寄付してまいりました。

佐藤廣子さんから校長先生にお渡ししてもらいました。現地の金額で451,000ルピーです。校長先生の1年間の収入より多い金額です。金額の多さに驚いている様子が伝わってきました。

お礼の手紙と支援金をどのように使うかは、決まり次第、ご報告いたします。

来年、訪問する時は、実施されている様子を拝見できたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

花見移動例会について



吉原久男親睦リーダー

年3月27日(水)を予定しております。皆様のご参加をお願い致します。

ニコニコ・出席報告

渡邊孝太出席リーダー



第7グループ Intercity Meeting

日時：2024年2月20日(火)

登録開始 12:30

会場：九十九里ヴィラ そとぼう

千葉県いすみ市岬町和泉 4427-1

電話 0470-87-7111

出席者

長谷川会員・星野会員・石田会員

泉会員・小高会員・大越会員

佐藤会員・高山会員・山岸会員

吉原会員・齋藤(幸)会員 11名

送迎バス無し 乗り合わせにて

生活出来る様ですが大変な事と思います。おうちの周りにはバナナ、ココナツの木、スターフルーツの木と沢山の木に囲まれて羨ましいと思いました。舗装もされてない学校に遠い所にもオートバイがある方が皆で協力して学校送迎してくれるとの事、協力しあって生活していると話されていました。全家庭にキッチンがあるわけではなく土間で煮炊き、水道もままならぬ事も聞きました。日本との違いに胸が締め付けられそうでしたが何処に行っても瞳のキラキラしている子供たちを見ていると子供たちが大きくなったら大きく変わるだろうと思いました。自分の出来る事の応援をしていこうと思います。

高山 義則 会員



スリランカに行ってきたのでその内容を報告します。

スリランカの事について、お話をさせていただきます。位置はインドの右下にあります。面積は北海道の8割ぐらいです。

お金は1ルピー0.46円位です。数年前は0.87円でした。スリランカの経済状態は悪いようです。山武市立睦岡小学校とは児童生徒同士の絵画を通じた交流が今もあるようです。

1月11日11時20分発スリランカ航空コロンボ直行便で、7名で出発しました。コロンボには17時45分着、9時間ほどのフライトでした。(日本との時差は-3時間30分)現地ではメルビンさんと8名の里子が迎えに来ていました。

里子にお土産を渡し、ホテルまで一緒に行きました。

このホテルは毎回泊まっているホテルでしたが、今回はジャグジー付きの広い部屋でした。メンバーでは佐藤さんと私の2名だけが1ランク上の部屋で止まったようです。他の同行者がわざわざ見に来て驚いていました。

1月12日(金)(現地で蜂須賀さんが参加し8名になりました)

当クラブが協力し、東金市のデパートで開催している、子供たちの絵画展の表彰の為、マハナガ学校へ行きました。佐藤会員から大網RCからの賞状と賞品を渡しました。

その後、ケーゴール、ガンバハ地区の里子宅を訪問(20軒位)

同行した水野さんの里子は8名、板倉前会員関係の里子3名の家を訪問しました。

新しい里子の家では鈴木先生がいろいろ質問し、また、写真を撮ったりして、家の中の状況などを調べていました。

ホテルに戻ってきたのは19時頃になっていました。

1月13日(土)クルネーガラ周辺の12名の里子宅を訪問しました。その後、菩提樹の木があるお寺を拝観し、出切るだけ新しく形の良い菩提樹の葉を拾い、スリランカ最古の王都で、今では、仏教徒の聖地であるアヌラダプラで宿泊しました。

1月14日(日)アヌラダプラで、日本語を勉強している里子の通う学校での奨学金授与式(13名)に参加しました。私には里子はいませんが、佐藤会員と共に奨学金を渡しました。水野さんから学校へ図書への贈呈がありました。水野さんは毎回図書を贈っているようです。古代遺跡群があるポロンナルワに宿泊しました。

1月15日(月)ポロンナルワで奨学金の授与式を行いました。

その後、観光をしながらポロンナルワ近郊の里子(8名)の家庭訪問をしました。ダンブツラ観光後、1名の里子に会いスリランカ最後の王朝として、静かな古都の佇まいを残す、世界遺産の街キャンディで宿泊しました。

1月16日(火)大網ロータリークラブ等が食糧支援をしているシャンシプラ学校を訪問しました。シャンシプラ学校はスリランカで、一番高い所にある学校で、標高1800mあるそうです。因みに一番高い山はピドゥルタラーガラで標高2524mです。学校に着くまでには、日本のいろは坂の様な坂道を延々と登って行きました。生徒数は100名位で45名位が弁当を持っていけない子だそうです。その為、学校を休む生徒もいるようです。その子たちに学校から食事を与えているか、または、同級生が自分の弁当を分けてあげる子もいるそうです。1名の里子を訪問した後、お釈迦様の歯を祀っている仏歯寺を拝観しました。世界遺産を見学するときは靴を脱いで裸足でお参りします。場所によっては、門の前から裸足で中に入ります。この日もキャンディに、最後の宿泊をしました。

1月17日(水)地元のデパートでショッピングをした後、コスモス奨学金の現地の総元締めであるスリブンニャワルダナ寺院を訪問しました。参加者全員で、関谷会員の寄付で出来た部屋と、顕彰碑を見学しました。その後、コロンボ近くの街で、里子とその家族と面会をしました。コロンボ発19:45の直行便で、鈴木先生と蜂須賀さんを残して帰国しました。二人は、翌日行われた亡くなった里親の供養の為、また、訪問できなかった新里子などを訪問されて、1月20日に帰国されました。

今回の訪問で再認識したことは、相変わらず貧しい人が多いのと、それにめげずに、元気のいい子供達の姿が印象的でした。

今後とも、会員皆さんの一層のご支援ご協力をお願いいたします。